

革新がんでサポート
されている試験

対象	標準治療	臨床試験				
		国内	海外	国内準備中		
小児髄芽腫 低リスク (WNT群)	手術・放射線治療・化学療法	UMIN 000014488 追跡中・Phase II 髄芽腫に対する新リ スク分類のパイロッ ト試験 (JPBTC-MB12) 2014.8.1~	(米国) NCT018786 17 登録中・ Phase II 臨床・分子リ スク分類に基 づく新規髄芽 腫治療 (SJMB12) 2013.6.23~ 2026.12	(米国) NCT02724579 登録中・Phase II 髄芽腫WNT群に対する 全脳全脊髄照射の減量試 験 (COG ACNS1442) 2017.10~2025.5	(欧州) NCT02066220 登録中・Phase II/III 標準リスク髄芽腫に 対する層別化による 放射線化学療法と減 量放射線治療 (SIOP PNET5) 2014.6~2024.4	JCCGで準備中・ Phase II 新規リスク分類 を導入した大量 化学療法併用放 射線減量治療 (JCCG-MB19)
小児髄芽腫 標準リスク				(米国) NCT00085735 解析中・Phase III 標準リスク髄芽腫に対す る放射線治療法の比較試 験 (COG ACNS0331) 2004.4~2016.3	(米国) NCT00392327 追跡中・Phase III 高リスク髄芽腫に対する化学放射線治 療の比較試験 (COG ACNS0332) 2007.3~2020.7	
小児髄芽腫 高リスク	手術・強化放射線治療・化学療法 もしくは 手術・放射線治療・強化化学療法		(米国) NCT00336024 解析中・Phase III 高リスク髄芽腫に対する大量メソトレ キセート療法の比較試験 (COG ACNS0334) 2007.10~2016.12			
乳幼児髄芽腫 標準リスク (DMB群)	手術・強化化学療法 土大量化学療法 土髄注化学療法 土放射線治療		(米国) NCT02875314 登録中・Phase IV 乳幼児胎児性腫瘍に 対する大量化学療法 の比較試験 (Head Start 4) 2015/9~2020.9	(米国) NCT02017964 解析中・ Phase II 乳児標準リスク(DMB型)に対す る非照射・化学療法レジメン (COG ACNS1221) 2014.4~2018.3		
乳幼児髄芽腫 高リスク						

・ UMINおよびClinical trial governmentのサイトを用いて「髄芽腫」もしくは「medulloblastoma」で検索し、PhaseII以上の多施設共同研究を抽出した。
 ・ 乳児および高リスクは世界的にも開発が行き詰っており、新薬を含めた治療開発が強く望まれる。

小児脳腫瘍（髄芽腫） リスク分類

リスク分類	リスク分類の概要
小児 低リスク	分子診断にてWNT群と診断され、かつ、頭蓋内転移を認めず、摘出術後の残存腫瘍が1.5cm ² 未満
小児 標準リスク	頭蓋内転移を認めず、摘出術後の残存腫瘍が1.5cm ² 未満
小児 高リスク	頭蓋内転移陽性もしくは摘出術後の残存腫瘍が1.5cm ² 以上
乳幼児（3～4歳未満） 標準リスク	組織学的にDesmoplastic Nodular Medulloblastoma(DMB)もしくはMedulloblastoma with extensive nodularity(MBEN)と診断され、かつ頭蓋内転移を認めない
乳幼児（3～4歳未満） 高リスク	標準リスクを除く全ての乳児髄芽腫